

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年03月14日

計画の名称	「生活基盤が充実した便利で快適なまちづくり」の実現 その（防災・安全）											
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	行田市											
計画の目標	下水道施設の計画的な維持管理、改築・更新を行い、持続的な下水道機能を確認し、安心・安全で快適なまちづくりを実現する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,379	A	1,379	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H32末)	最終目標値 (H34末)
1	緑町ポンプ場における長寿命化計画に基づく対策の実施率を16%（H30当初）から100%（H34末）に増加させる。 緑町ポンプ場における長寿命化計画に基づく事業の実施率 長寿命化対策実施済の資産数（資産）/長寿命化対策をすべき資産の数（55資産）	16%	100%	100%
2	下水道施設におけるストックマネジメント計画策定率を45%（H30当初）から100%（H34末）に増加させる。 下水道施設におけるストックマネジメント計画策定率 スtockマネジメント作業済項目数（項目）/ストックマネジメント作業項目数（11項目）	45%	100%	100%
3	下水道施設（ポンプ場）において、ストックマネジメント計画に基づく改築の実施により、ライフサイクルコストを1.18億円/年縮減する。 下水道施設（ポンプ場）におけるストックマネジメント支援事業実施率 スtockマネジメント支援事業実施済のユニット数（ユニット）/ストックマネジメント支援事業をすべきユニットの数（81ユニット）	0%	6%	16%
4	下水道施設（管渠）において、ストックマネジメント計画に基づく改築の実施により、ライフサイクルコストを2.74億円/年縮減する。 下水道施設（管渠）におけるストックマネジメント支援事業実施率 スtockマネジメント支援事業マンホール蓋の安全機能・性能を確保済の個数（基）/ストックマネジメント支援事業マンホール蓋の個数（7146基）	44%	45%	45%
5	地震時において、下水道施設（ポンプ場）における安全衛生機能・避難機能を確認できている割合（耐震化工事（詳細設計）実施率）を0%（R4当初）から100%（R4末）に増加させる。 下水道施設（ポンプ場）における総合地震対策事業実施率 安全衛生機能・避難機能確保のための耐震化工事（詳細設計）実施済ポンプ場数（箇所）/安全衛生機能・避難機能確保のための耐震化工事（詳細設計）をすべきポンプ場数（1箇所）	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	-----------------------	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	行田市	直接	行田市	ポンプ場	改築	行田市長寿命化計画(緑町ポンプ場)	緑町ポンプ場の改築	行田市						288		策定済
		長寿命化計画																	
	A07-002	下水道	一般	行田市	直接	行田市	-	改築	行田市ストックマネジメント計画	ストックマネジメント計画策定	行田市						36		策定済
		ストックマネジメント計画																	
	A07-003	下水道	一般	行田市	直接	行田市	ポンプ場	改築	行田市ストックマネジメント支援事業(ポンプ場)	ストックマネジメント点検調査及び改築事業の実施	行田市						869		策定済
		ストックマネジメント計画																	
	A07-004	下水道	一般	行田市	直接	行田市	管渠(汚水)	改築	行田市ストックマネジメント支援事業(管渠)	ストックマネジメント点検調査及び改築事業の実施	行田市						156		策定済
		ストックマネジメント計画																	
	A07-005	下水道	一般	行田市	直接	行田市	ポンプ場	改築	行田市総合地震対策事業(ポンプ場)	下水道施設(ポンプ場)の総合地震対策事業の実施	行田市						30		策定中
		総合地震対策計画																	
											小計						1,379		
											合計						1,379		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
行田市下水道事業運営審議会条例による、行田市下水道事業運営審議会で実施。	令和6年3月
	公表の方法
	市ホームページ、窓口
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に基づきポンプ場施設の改築を実施したことにより、持続的な下水道機能の確保に寄与した。 ・計画的な点検・調査及び修繕・改築を行うことにより、持続的な下水道機能の確保に寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き計画的な点検・調査及び修繕・改築を行うことにより、持続的な下水道機能の確保に努める。 ・計画に基づき施設の耐震化及び設備の改築を行うことにより、安全衛生機能・避難機能・流下機能を確保し、持続的な下水道機能の確保に努める。 	

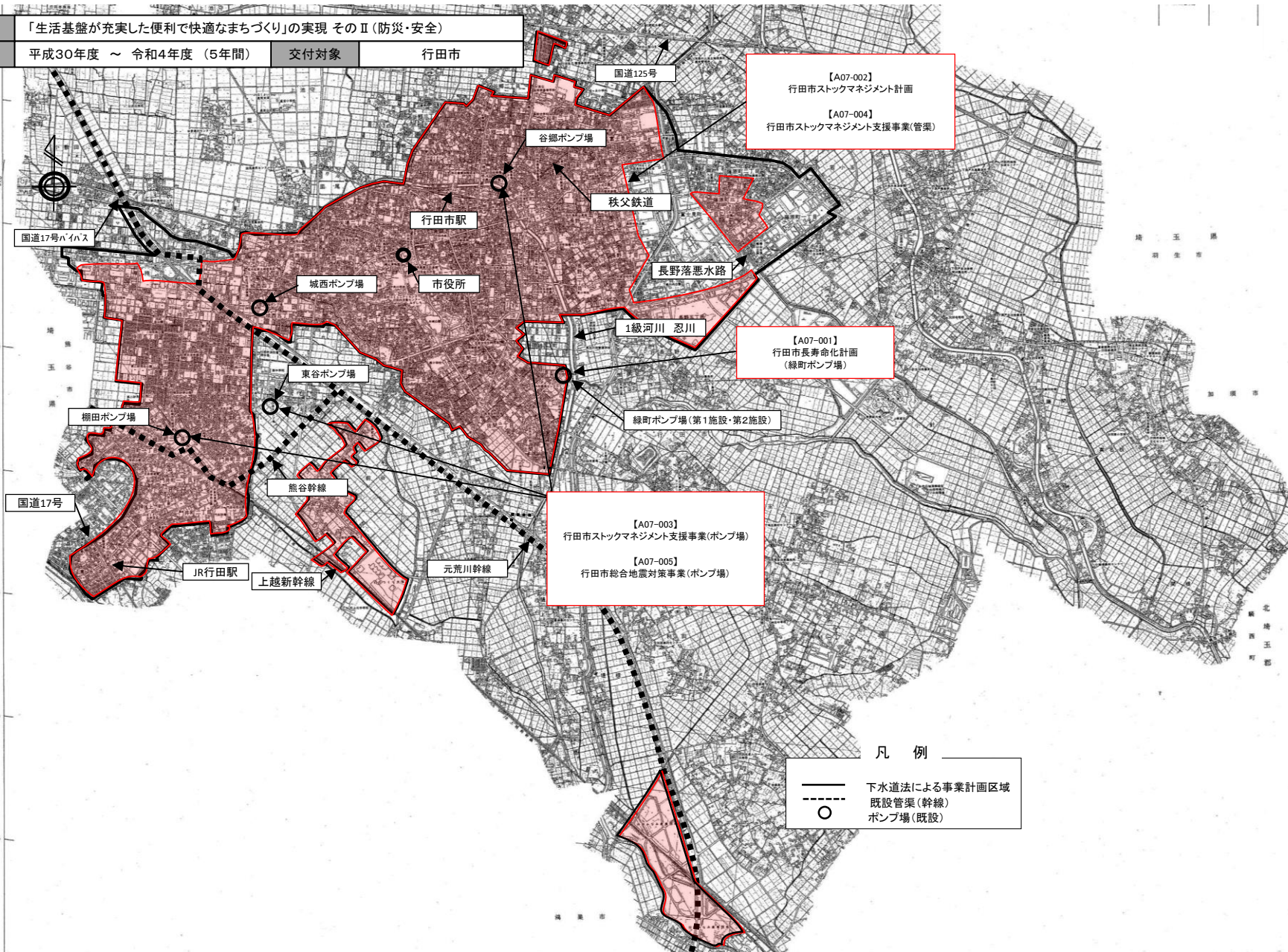
目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	緑町ポンプ場における長寿命化計画に基づく事業の実施率	
	最終目標値	100%
2	下水道施設におけるストックマネジメント計画策定率	
	最終目標値	100%
3	下水道施設（ポンプ場）におけるストックマネジメント支援事業実施率	
	最終目標値	16%
4	下水道施設（管渠）におけるストックマネジメント支援事業実施率	
	最終目標値	45%
5	下水道施設（ポンプ場）における総合地震対策事業実施率	
	最終目標値	100%

目標値と実績値に差が出た要因

設備の改築にあたっては、耐震化と合わせて実施することを予定していたが、耐震診断の結果を考慮した事業内容の精査により、計画を再編することとしたため。

効率的な事業執行に努めたことで、目標値を上回った。

計画の名	「生活基盤が充実した便利で快適なまちづくり」の実現 そのⅡ (防災・安全)		
計画の期	平成30年度 ~ 令和4年度 (5年間)	交付対象	行田市



【A07-002】
行田市ストックマネジメント計画
【A07-004】
行田市ストックマネジメント支援事業(管渠)

【A07-001】
行田市長寿命化計画
(緑町ポンプ場)

【A07-003】
行田市ストックマネジメント支援事業(ポンプ場)
【A07-005】
行田市総合地震対策事業(ポンプ場)

凡 例

- 下水道法による事業計画区域
- 既設管渠(幹線)
- ポンプ場(既設)